

BUNGO HOME

Take Free !!

ご自由にお取りください

未来を想う、繋ぐ。

家の「未来」を想うこと。

それは、家族を想うこと。

そして、ふるさとを想うこと。

増え続ける空き家。

それは全国的な問題であり、豊後大野市でも深刻な問題となっています。そんな気になる「おうちのこと」について、専門家にお話を伺いました。

アートオブライバー級建築士事務所 代表
NPO 空き家サポートおおいた 県南・豊肥地区 窓口

工藤 健治 さん

豊後大野市の級建築士に
聞きました！



**家は「記憶」であり、家族の成長を
「記録」してくれているもの。**

私は古民家改修などではなく、一からデザインして新築をつくる仕事がメインで、金額等の面で言うと下手したら古い家を解体したり修繕するよりも、新たに建てた方が安い場合も無しとは言えません。

ただ、古い家を見ていて思うのは「簡単に壊せない」ということです。これは物理的な話ではなく心理的なものになるのですが・・・。家って記憶であり家族の成長の記録もあるんですよね。特に今の家と違って昔の家というのは「柱」を見せる構造になっているんです。柱を見せる家というのはその柱を美しくするために建てる時に手間がかかるというのと同時に、家族を見守ってくれる象徴です。例えばよく昔の家であるのが子どもたちの身長を柱に刻むこと。これってその家の歴史が家族の歴史であることの現れですね。だから現代のように核家族化してなかつた頃の「我が家」の一軒家というものは思い出がいっぱい詰まっているんです。私も、もし建て替えの仕事の際は、「柱」を捨てたりすることはせずに、何かしらにリメイクしてお渡しするようにしています。



家族会議をしない日本文化が 危険な空き家を生み出す。

家族会議をしない日本文化も、空き家を生む一つの要因だと思います。

日本人って何だか奥ゆかしいところがあって、死んだ後の話はあまりしたがらないんですよね。今でこそ「終活」という言葉が少しずつ広まりつつありますが、それでもなかなか家族で集まって「おじいちゃんが亡くなった後この家は～」とか、将来の家の事を真剣に考える機会が少ないと思います。核家族化している現代ではさらに会議しにくいところがあるかと思いますが、年に一度でも、家族みんなで集まっておじいちゃんやおばあちゃんと真剣に「家の将来」を考えるべきだと思います。



空き家問題は 「地球温暖化」と同じ。

良くないことは分かっている。将来必ず直面する問題だと分かっている。それでも、今すぐに具体的に動けているかと言えばそうでもない…。というのが空き家問題だと思うんですね。これって地球温暖化に似ていますよね。

もうかなり前から言われ続けている地球温暖化問題は、なんとなく「やばい」という気持ちが一人ひとりにありつつ、なんだかいつの間にか忘れてたりする。いつか直面する問題を、忘れていたり後回しにしたり誰かに頼っていたり…

それが「気づいたら手遅れ」に繋がる可能性がありますよね。そんな危機感を皆さんに思い出してもらったり、警鐘を鳴らすことが、行政だったり空き家の業者だったりこのフリーペーパーだったり…の役目なのかもしれません。

「住まないので固定資産税がかかる空き家を売りたい・手放したい！」

「実家が空き家になった！でも住む予定の身内がいない！

誰か住んでくれる人はいないかな？？」

「空き家になった実家・・・遠くて帰省が頻繁にできない！

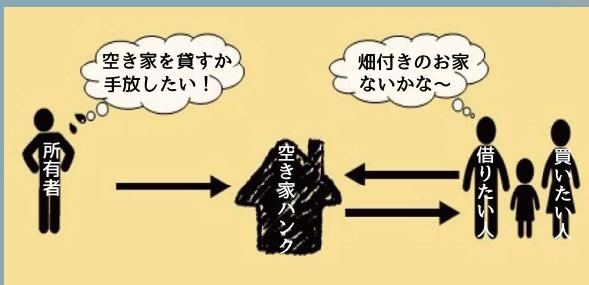
誰かに家の管理を依頼できないかな・・・」

そ ん な 時 は・・・



1 空き家バンクに登録

空き家バンクとは、空き家所有者と空き家の利用希望者をマッチングするための仕組みです。



詳しくは下記にお問い合わせください！

豊後大野市役所まちづくり推進課 TEL / 0974(22)1001



2 空き家管理を委託

「NPO 法人 空き家サポートおおいた」では、月額 3000 円～ 草刈り、ガス・水道の点検などといった、空き家管理の代行サービスが実施されています。

詳しくは下記にお問い合わせください！

NPO 法人 空き家サポートおおいた

大分市大字津留 1911 番地 19

TEL / 097(578)8782

MAIL / info@akiya-oita.com

NPO 法人空き家サポートおおいた

「居心地のよい空間をつくること」

緑深い山々と美しい田園の広がる犬飼町黒松の道路沿い。ひっそりと建っていたその建物は、夜になるとそのオレンジの灯りでおしゃれな雰囲気と存在感を漂わせていた。

手作りの木工品や古道具、様々なアーティストの作品を置く雑貨屋「はなれ古舎（こや）」だ。

オーナーの高野さんはこの犬飼町黒松に両親と共に暮らし、土日を中心にしてこの店を開ける。店内はおしゃれな雑貨や古道具であふれ、しっとりと音楽が流れる中、心地よい空間がつくられていた。

「自分の部屋みたいな感覚です。たくさんのお客さんを呼び込みたい、というよりも、お客様が自分の部屋に遊びに来てくれている、という感じでやっています。」

そうゆったりと笑顔で話す高野さんには、聞く人に安心感を与える雰囲気がある。

高野さんと「はなれ古舎」は似ている。

2010年。旧長谷郵便局だった建物は「はなれ古舎」としてオープンした。もともと大分市で雑貨屋をしていた高野さんは、木工品の製作場所としてこの建物を借りていたが、次第に雑貨を置きはじめ、ついには「はなれにある古い局舎」をお店にすることになったのだ。はじめ、旧郵便局の跡だった建物はお化け屋敷状態だったという。

「人が入りはじめると全然違いますよね。家の中の雰囲気も匂いもすべて変わる。もし誰も使わなかったら、この建物はもう立ち入ることができない状態になっていたかもしれません…と思います。」

人が使ってこそ家は生きる。

そこに人がいなくなってしまうと家も死んでいく。
その建物の思い出や記憶も消えていくのだ。

「古いものって一周回って新しい」

郵便局だった建物はその面影がよく残っていた。かつて窓口だった扉や、郵便局員への呼びかけで掲示されている「迅速親切丁寧」の札に、思わず当時の郵便局と局員、訪れる人々への想いを馳せてしまう。



はなれ古舎オーナー
高野知則さん（43）



様々な作家さんの作品を置いている



「はなれ古舎」の外装。旧長谷郵便局の面影が残る。

郵便局に併設された住居も、大規模改修などはせず、ほぼ当時のままだ。

「古道具も古い家も凝ってるんですよね。造りが。なんというか、古い家ってすごく手間がかかって簡単に同じものが作れないんですよ。古道具も同じく凝っていて、何より気持ちがこもっている。そういうところ、好きですね。」

そう高野さんはほほえむ。

商品の中に、古くて見たことのない機械を発見した。手形や領収書などに手動で凹凸に印字することのできる「チェックライター」という機械なのだろう。

「古くて見たことがないものって、一周回ってもはや新しいと思っています。」

古くて新しい。それが「はなれ古舎」の洗練された空間を生み出しているのかもしれない。

「イメージがカタチになる喜び」

「はなれ古舎」には高野さん手作りの木工品も置いてある。本棚やラック、ベンチなど、どれも色合いや、角の丸みから木の温もりが伝わるようだ。手作りとはいっても、とても本格的でサイズや高さなどちょうど使いやすい造りになっている。

「手作りの楽しさは『イメージしたものが実際にカタチになる喜び』ですね。今後は、実用的でありながら、ちょっとだけデザイン的に一ひねりあるような物が作れたらなと思っています。」

そんな高野さんに今後の夢を聞いてみると・・・

「もう夢を叶えちゃってますからね…。強いて言えば、この生活をつづけられることが夢ですね。」
そう笑顔で答えた。

このままでいい。

ここ、のままでいい。

変化の激しいこの時代に、変わらない空間でたわいもない会話をする時間はとてもほっとする。

高野さんと「はなれ古舎」は似ている。



手動式のチェックライター



かつての受付窓口の
局員側に掲示された札



高野さん手作りの棚



高野さん手作りのラック



『はなれ古舎』

〒879-7313 大分県豊後大野市犬飼町黒松1222-1

ぶんごおおのに 移住後のリアルな声 集めてみました

価値観の違い

「当たり前」が違うため
価値観の違いを感じる
ことがある

庄員さんが知り合いになる
お店が少
ない分、行く店も限られ
てくる。そうしたらいつの
間にか店員さんと知り合いに
なって毎回レジで会話が弾む！
これって結構な醍醐味！

人が集まる仕組み、助け合う場づくりが
移住者でもお年寄りでも、
人口が少ないと孤立しがち。人が集ま
るような仕組みや場づくりは
大切だと思う

チャレンジショップとか良いかも
駅前だけでも空き店舗が目
立つ。例えば開業したいひと向けに、
期間限定で店舗を安く貸してお試し開業
みたいなチャレンジショップと
か良いのでは

「農業」の人ナーチャージを変えたい、
仕事が
ないように見えて豊後
大野では農業をしやすい環境にあ
ると思う！農業の「きつい」イメージを
変えて若者に就農を PR できれば

「こんな会あったらいいな」の案募集中！

移住者が増えたら良いなと思いつつ、移住した後の孤立を無くすこと、
悩みを共有することも大事！そこで、豊後大野をより住みやすくする
ための「こんな会あったらいいな」を募集しています！

もっともっと暮らしやすく。みんなで考えていきましょう！

人と人との距離が近く、温かみがある
近所の人
たちは親戚のよう。その地
域の人はみんなお互いのこと
を知っていて助け合っているこ
とがすごい！そして人情があ
ふれていてほっこりする

起業するなら田舎が良いと
都会では競合相手が多い中、田舎だと
自分の個性を発揮しやすくなる
も知つてもらいやすい。起業した
い若者には田舎がおススメ！？

可愛がってくれる環境
都會では、電車の中
など迷惑がられる場面も
あるが、こちらでは周りの
方が子どもを重宝してくれることがとても多い

趣味を詠歌できる環境
アウトドアが趣味！
大好きな登山も釣りも
温泉も、車で1時間で
行ける環境が幸せ！

玄関に野菜が置いてある
家の前に
野菜が置いてあるのは最初
驚いた！自分もお返しのお菓子
を持って行くとそこで地域の人
と交流できる。横のつながりが
自然と生まれる！

区費・区役最初から把握しておきたい
地域ごとに違う
区費や区役の情報を
前もって知っていれば
移住後、その地域に
より溶け込みやすいかも

子育てもみんなできたら
色々な環境の子どもたちがいる。
お母さんが孤立しないよう
協力してみんなで子育てできる
仕組みがあつたらいいな

「こんな会あったらいいな」の案募集中！

ぶん語王道 vol. 2

豊後大野で使われている言葉を紹介するコーナー！今回は「地名」に注目しました♪



全国的にある「ムレ」のつく地名ですが、実は九州とくに大分県に最も多いといいます。

朝鮮の古語「ムル」、「モリ」からきたもので「山」や「山城」の意と考えられています。

高野牟礼（こうのむれ：千歳町柴山） 中津無礼（なかつむれ：三重・清川町白山）

牟礼岳（むれだけ：三重町上田原） 小牟礼城（こむれじょう：朝地町市万田）

高無礼（たかむれ：緒方町軸丸）

などなど・・・豊後大野の様々な地に名づけられています！

ぜひ他にも探ってみてください★

朝地町の『牟礼鶴酒造』さんは
この城から名づけられたと言わ
れています！

参考：高野好古『緒方雑話』1968、高原三郎『大分の地名』1987

清川町



清川の旧村花
見頃：4月～5月

出会橋&轟橋&オンツツジ

大野町



飛行機&沈堕の滝&ボタン桜

大野町の旧町花
※豊後大野市の市花
見頃：4月中旬～5月上旬

緒方町



緒方町のシンボル
※旧町花はコスモス・ムクゲ
見頃：3月中旬～4月上旬

原尻の滝&チューリップ

行ってみよう
観てみよう

ぶんごおおののマンホール
ぶん語王道と
春の
お花

ぶんごおおののマンホール

※「旧町・旧村の花」とは、合併して豊後大野市になる前のそれぞれの町村の花ということです。

編集者後記

「熱」のある発信をしたい。

当フリーペーパーを手に取っていただき、誠にありがとうございます。豊後大野市の地域おこし協力隊の日淺（ひあさ）と申します。

豊後大野市に移住して間もなく2年が経とうとし、地域おこし協力隊となって1年半が経ちました。「よそ者」として感じる豊後大野の自然、人、コミュニティの魅力は尽きず、日々驚かされることばかりです。現在住んでいる集落でも、新鮮な発見が毎日といっていいほどあって、発信したい魅力が山ほどあります。その魅力のワケを探ると、そこにはたくさんの「ストーリー」と「想い」がつまっていることに気がつきました。

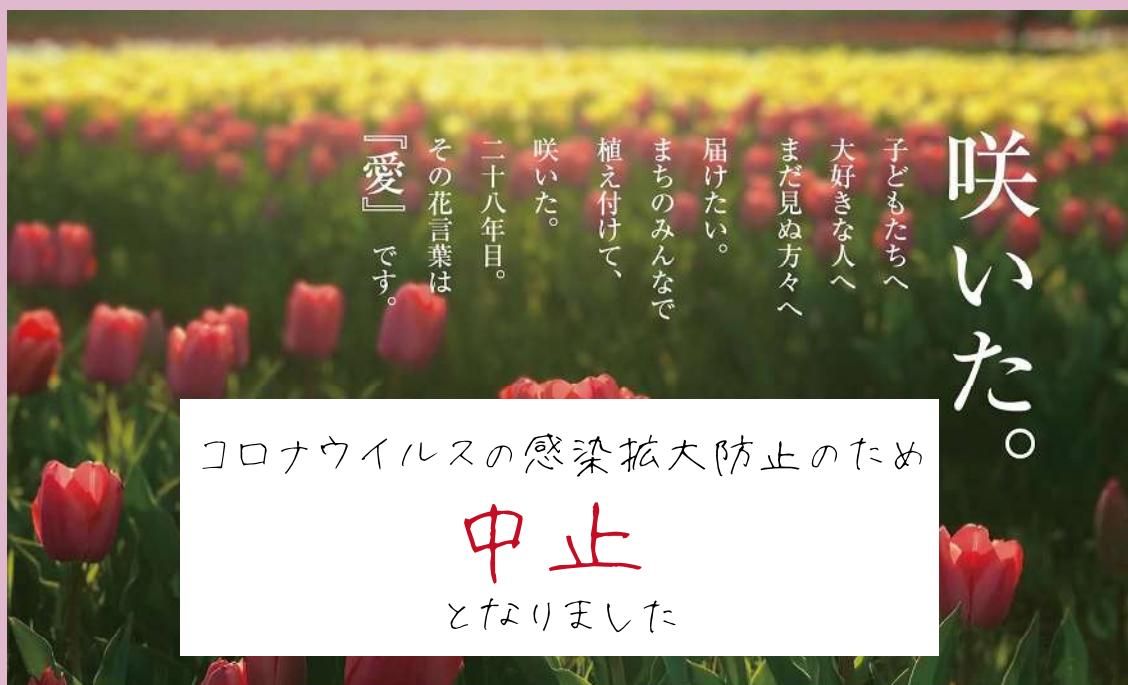
今後も、そんな「ストーリー」と「想い」をしっかりと知って、同じくらいの「熱」のある発信をしたいと思っています。

表紙の写真

緒方町のチューリップ

表紙の写真は2019年の春に撮影した緒方町のチューリップです。

下記ポスターの第28回チューリップフェスタは中止になりましたが、美しいチューリップは咲き誇ります！ぜひ家族と、友人と、大切な人と一緒にチューリップを観にいきませんか。



第28回 おがたチューリップフェスタ 4月2日(木)~4月17日(金)

会場 道の駅原尻の滝周辺
主催 チューリップフェスタ実行委員会 後援 豊後大野市・大分合同農業組合・OBS大分放送・TBS大分放送・OASテレビ大分・ニコニコ大分・大分ケーブルテレビ株式会社
お問い合わせ 大分県農業振興センター支所 TEL: 0974-422511

3mico HOME vol. 02

2020年3月25日発行

発行：豊後大野市役所まちづくり推進課 地域おこし協力隊

発行人：日淺紗矢香

問合先：豊後大野市役所まちづくり推進課

TEL / 0974-22-1001 FAX / 0974-22-3361